



広島西ロータリークラブ会報

THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA WEST

No.
2022

例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会 長 田中 健志
幹 事 金本 善行

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail:hwrc@godorc.gr.jp
広島西ロータリー <http://www.hwrc.jp/>

RIテーマ Building Communities Bridging Continents

「地域を育み、大陸をつなぐ」

本年度会長テーマ

「ロータリーを楽しもう」

「識字率向上月間」

2011年3月24日 第1998回例会

◆ 会長時間 ◆

田中会長



3月は「識字率向上月間」で、1986年以来、RIの強調事項になっています。ユネスコの発表では世界で9億人以上の人々は読み書きができないそうです。そしてその3分の

2は女性です。地域の識字水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人達を援助するためのプログラムを実施しています。

日本ではこの「識字」は全く話題になりませんが、驚くことに先進国アメリカでも移民が多いため成人人口の14%が単純な日常的識字活動ができない状態だそうです。ユネスコや各国の政府またRIのようなボランティア団体の努力にもかかわらず、世界の識字率は1990年以降ほとんど改善されていないそうです。

「識字」とは英語のLiteracyの訳語ですが、具体的には文章リテラシー・図表リテラシー・計算リテラシーに分けられ、最近ではコンピューターリテラシーという言葉もでてきています。私自身、コンピューター時代には何とかついて行こうと努力してきましたが、昨今のツイッターや中東諸国

における民衆のデモで大きな役割を果たしたフェイスブックには全く無縁です。特に携帯電話を使っているネット社会には全く無縁です。ということは「モバイルコンピューターリテラシーがない」ということになるかもしれません。RIの「識字率向上月間」とは話題がそれでしたが、これで会長時間を終わります。

成瀬峰伸会員 退会挨拶（バナー贈呈）



平成21年5月に吉田愷忠さん、山木靖雄さんのご推薦で入会いたしましたが、この度この春の人事異動により本日を以って退会することになりました。

その間、広島西ロータリークラブの末席を温めるばかりで十分な役割を果たすことも出来ず、大変申し訳なく思います。それでも皆さんには大変暖かく接していただき、心より感謝いたします。

新入会員の出し物の練習で、何日も夜遅くまで練習したのを昨日のこのように思い出します。退会後も広島西ロータリークラブで学んだ精神は

忘れず、社会奉仕に積極的に関わっていきたいと思います。

短い間ではありましたが大変お世話になりました。ありがとうございます。

広島西ロータリークラブの更なる発展を祈念して退会の挨拶とさせていただきます。

●会務報告 金本幹事

※次週例会は休会となっておりますので、お間違えのないようお願い致します。なお、メイクアップの必要はございません。

※他クラブ例会変更

広島廿日市RCの3月28日(月)の例会は、夜間例会を中止し、通常例会に変更となりました。

(受付サインはありません)

4月1日(金) 広島南RC 夜間例会に変更

4月5日(火) 広島安芸RC 夜間例会に変更

※ロータリーレートが4月1日より80円(現行84円)に変更になります。

※4月29日に予定されていた在広ロータリークラブ懇親ゴルフ大会は、中止となりました(臨時合同幹事会にて承認)。

●委員会報告

出席報告 池田委員

本日(3月24日・木曜日)

会員数 83名 出席者 71名

欠席者 12名 ご来客 5名

ご来賓 1名 ゲスト 2名

計 79名

前々回(3月10日・木曜日)

出席率 100%



※源流の会からの情報 諏訪昭登PDG

震災義捐金の送付方法について、いろいろな方法がありますので、まとめてみました。

最善と思われる方法でご援助ください。

1. RIにウェブサイトを通じて、直接クレジットカードで行う方法

<http://www.rotary.org/ja/contribute>

後日全額が震災援助に使われます。

2. ロータリアン個人、クラブ、地区からの寄付。全額が震災援助に使われます。

4月1日以降、ロータリー日本財団を通じて行う。現時点では口座未設定です。

3. DDF(地区財団活動資金)による寄付
国際ロータリー日本事務局を通じて寄付。
MGを利用して大きな金額にして活用することも可能です。長いタイムスパンで行う復興事業に向いています。

4. ガバナー会を経由する義捐金寄付
地区で取りまとめて3月31日までにガバナー会に振り込む。
後日被災地区のガバナーと協議の上配分する。

5. 2530地区(福島)からの援助要請
迅速な復旧活動に利用できます。

義捐金 東邦銀行南福島支店 普通643814

口座名義: RI第2530地区ガバナー

大橋廣治

救援物資 〒960-1197 福島県福島市永井

川北原田17

日本赤十字社福島県支部

太田久雄事務局(福島南RC会員)

024-545-7997

6. 2520地区(岩手・宮城)は現在義捐金口座開設準備中

7. 2830地区(青森)DDFによる支援を要請中と聞いています。

※姉妹友好委員会 上野委員長

3月21日(月)～3月24日(木)、3泊4日の行程で台南RCとの子女短期ステイを実施致しました。安部会員の孫玲那さん(小六年)、原会員の彰吾君(中学一年)の二名が、台南RCのお世話になりました。

例会出席、名所案内、盛大な送別晚餐会を企画頂きました。

本日3月24日、夕刻帰国致します。



● 同好会報告

☞ 紫友会 鈴木世話人

3月12日(土)、広島ゴルフ倶楽部鈴ヶ峰コースにて3月例会が行われました。成績は以下の通りです。

		トータル	ネット	アウト	イン
優勝	中村(哲)君	88	74.50	48	40
準優勝	安部君	96	75.30		
第3位	鈴木君	89	76.40		
シニア優勝	安部君				
ベストグロス	上田君				
B. B.	齊藤君				

なお、4月例会(14、15日)の遠征は、5月22日・23日に変更になっております。

☞ 紫雀会 木本世話人

3月例会が庚午クラブにおいて開催されました。新鋭のホープ鈴木さんが初めから絶好調でダントツの優勝でした。

2位は老練なうち回しの園尾さんで、3位は3位常連の私木本でした。

● スマイルボックス SAA 尾形委員

☺ 成瀬峰伸君(自主申告) ダブル

このたび、春の人事異動により本日をもって広島西クラブを退会することになりました。約2年間、クラブの末席を温めるのみで十分な役割を果たすことができず、申し訳ない気持ちで一杯です。皆さんには大変暖かく接していただき、心より感謝いたします。感謝と懺悔の意を込めて、スマイルボックスとスマンボックスにそれぞれ出宝いたします。

☺ 藤田明信君(自主申告)

誕生以来、広島西クラブの皆様にお世話になりました愚息光信が、両親の出身校である慶応義塾大学入学を目指して3年間頑張ってきましたが、今年も夢がかなわず、宗門の大学である大正大学に進学することに決断しました。父親の跡を継いで第24代の浄国寺住職となるべく努力する所存ですので、今後もよろしくご指導のほどをお願い申し上げます。

☺ 井原俊彦君(自主申告)

私の長男は米国フィラデルフィアにあるペンシルベニア大学の生命科学部の博士研究員として4年間、卵子の機能発現の遺伝子的研究という

私には全く理解できない研究をしてきましたが、一昨日無事帰国しました。4月からは日本で初めて体外受精を成功させた東北大学大学院婦人科講座の助教として迎えられ、生殖医療の基礎部門を担当することになりました。大震災の復興に人手が要るので、研究がすぐ始められるかどうか心配ですが、広島には帰らず、仙台に骨を埋める覚悟だと言います。親としては、悲しいような、嬉しいような複雑な気持ちです。

☺ 井原俊彦君 (IFWFR 1月号)

先週、田中会長から紹介がありましたが、井原君はわが西クラブの「弥山クラブ」の活動について寄稿されています。内容は昨年7月、貸し切りバスで吉和山岳リゾートへ出かけたけれど、強い風雨のため登頂をあきらめて麓の温泉に付き、バーベキューを楽しんだ話。雨もまた楽し、ですね。

☺ 川西祐二君(3月17日 広島経済レポート)

(株) トータテハウジングはリフォーム部門の「トータテ増改工房」を「トータテリフォームセンター」に改称し、多様化するニーズへの対応や、環境、省エネに配慮したリフォームを推進していくことになりました。ホームページも一新し、webサービスも強化されました。ますますのご発展を祈ります。

☺ 紫友会 3月例会関係

優勝の中村哲朗君はダブルで、2位の安部憲明君はシニア優勝と合わせてトリプルで、3位の鈴木義尚君、ベストグロスの上田欣一君もスマイルボックスへご案内いたします。またニアピン4ホールのうち、3つのニアピン賞を獲得された中村哲朗君と垂井俊郎君もご出宝をお願いします。

■ 卓 話



広島錦鯉

株式会社 小西養鯉場
代表取締役 小西 丈治氏
「錦鯉の歴史」

錦鯉ではなく、黒い鯉(いわゆる真鯉)は少なくとも2000年以上前から日本にいました。

しかし、錦鯉の原型となるものが出来てまだ200年位です。交配に交配を重ねて、特にこの100年位前で固定され、また新品種も作られ、現在では80種類をこえる程になりました。

錦鯉の原型となったものは、真鯉の養殖の中から突然変異的に出現した白い鯉や緋鯉のようなものでした。

錦鯉は新潟県の山古志村（中越地震のあった所）が発祥の地とされています。

この地方は山間部でもあり、冬は3～4mの積雪がある所で昔から真鯉を食用のためたんぱく源として養殖していました。そのような中から出現した錦鯉の原種を村人は観賞したり、自慢しあったり、また、よりきれいな鯉を作るための交配をするようになりました。

当初は、色鯉とか変わり鯉とか花鯉とか、呼び方も様々で錦鯉と統一して呼ぶようになったのは昭和30年代頃からの様です。

また、庭園の池で鯉を観賞するようになったのは、平安朝時代から急速に発達してきた造園の技術で各地に、池を中心にする回遊式庭園が出来、池に鯉を遊泳させて観賞するようになりました。

それ以来、日本庭園に鯉を泳がせることが常識となってまいりました。



本店養殖場・安佐北区後山

「広島錦鯉」

錦鯉の産地は新潟が発祥地でもあり有名ですが、広島県の錦鯉は大正時代に養殖が始まり、昭和に入り、次第に生産が拡大するとともに昭和30年代には消費流通も本格化し産地としての基盤が確立され、広島はここ20年ごろより新潟にならぶ生産地となりました。特に品質において、国内はもとより世界中に認められ、海外からたくさんのバ

イヤーが広島に来ていますし、広島が世界に誇れる特産品となっています。

なぜ広島で養殖が盛んになっていったかと申しますと黒鯉の方では、明治初期、広島県勸業課が発行した「広島県勸業雑報」と言う、月刊誌に「稲田養鯉法」の記事が度々、掲載されました。また、広島県の指導もあり、だんだんと盛んになったようです。広島は気候も温暖であり、水質も良いという環境にも恵まれていました。

現在、広島県内で錦鯉の養殖や販売をしている業者は50軒ぐらいあります。

また、広島は鯉に関係するものが多く見られます。

・己斐の地名は鯉からきたもの

約1800年前、神功皇后が軍を率いて、現在の己斐町付近に御休息の時、村人から献上された大きな鯉の勇姿に感銘され、この地をコイの里と命名されたと古い文献にあるようです。

・広島城が鯉城と呼ばれるのは

広島湾に注ぐ太田川には昔から鯉が群棲していました。この川の流れを直接、内堀、外堀に引いていたため、人々は悠々と泳ぐ、たくさんの鯉を目にする事となり、いつしか、この城を鯉城と呼ぶようになりました。あと、広島カープも鯉からです。

「海外との取引(輸出)について」

錦鯉は日本で創出された「生きた芸術品」であり「国魚」とも言われています。

海外では日本庭園や盆栽等も同様ですが、日本の文化としてとらえてくれています。

輸出は昭和39年、(東京オリンピックの年、1964年)47年前より始まり、最初は、ハワイ、次にアメリカ西海岸と取引が徐々に増えていき、その後にヨーロッパではイギリスが早く、30年ぐらい前より始まり、現在、ドイツ、オランダ、ベルギー、スイス、等へと広がっています。また、アジアでは香港が早く、30年ぐらい前より始まり、続いて台湾、シンガポールが続き、タイ、マレーシア、インドネシア、中国がその後に続いています。近年は特に、中国、インドネシア、マレーシアが伸びているようです。輸出量はここ15年位前から飛躍的に伸び始めました。アジアの経済成長に比例しているようです。現在では広島空港の輸出貨物の取扱い量では錦鯉が一番となっています。また、

一昨年、農林水産省の方で重要輸出品目にも指定されました。

ヨーロッパではイギリスを初めとする、ガーデニングの中から人気が出ました。

理由は、①淡水魚の観賞魚にきれいなものがないかった。

②錦鯉は綺麗で種類も多く、適応力があつた。

一方、アジアでは中国系の人達の中で人気があり「風水」の影響も強いと思われる。

鯉を育てると自分の運気があがるとか、池とか水槽があると縁起が良いとか、です。

またそれぞれの国で独自の言語で錦鯉の雑誌が発行されていますが「錦鯉」という言葉や品種の名前は全て日本語のままになっているのもすばらしい事だと思います。

「錦鯉の特長・養殖について」

- ・寿命は70年ぐらい（215才という記録もある）普通20～30年。
- ・平和を象徴する生き物であり、性質は穏やかで人に慣れやすく、餌を手から直接食べるようになる。
- ・新しい鯉が入っても、けんかやいじめもないし優雅な群泳を見ていると癒される。
- ・順応性が高く、どんな所でも飼える、5℃～35℃なら大丈夫。
- ・小さなガラス水槽でも飼育出来るし、小さな入れ物だったら大きくならない。
（池でないと飼えないイメージがある）
- ・熱帯魚とちがいで、同じ模様はいないので個性を楽しむ。
- ・高価なイメージがあるが、300円から色々あつて最も良く売れる価格帯は3,000円以下です。

養殖について（1年の流れ）

産卵は5月から7月、積算温度が100℃で4～5日でふ化し、稚魚池にミジンコをわかし、そこへ放します。40～50日後に選別します。

95%は捨てる、秋までに最低3回繰り遮す。商品となるのは300～500円を含めて1%だけ、飼育は当方は稚魚池、冬はハウス池の中へ入れる。

翌年の春にはため池に入れる鯉を選別。

2才以上は野池と言って、山合いにある、農業用

のため池を使用、大きい特別なものは30坪の広さに1尾の割合で飼育する。

池揚げと言って、私たちにとっての「収穫」ですが、秋の10月頃に行います。

ため池の水を徐々にぬき、錦鯉を取り上げる作業です。

1年の内で1番私たちにとって大事な時期であり、その年の結果がでるのです。その後、池揚げされた鯉は展示池に入れて春まで販売されます。



生まれて半年後、18cm



7年後、88cmに成長



「今後取り組んでいきたい事」

- ・錦鯉をもっと身近に感じてもらうため、ガラス水槽での飼育をもっとPRしたい。
（錦鯉のファンを増やしたい）
- ・縮景園には今年、錦鯉を寄付させてもらった（念願だった）
広島城の堀にも、もう一度錦鯉を泳がせたい。
- ・色々な公の池でも錦鯉を泳がせたい（広島の特産品なので）

<プロフィール>

昭和27年12月3日生 58才

昭和46年 崇徳高校卒業

昭和50年 千葉商科大学卒業

昭和50年 株式会社小西養鯉場 入社

平成8年 代表取締役社長 就任

平成20年 広島県淡水魚養殖組合 組合長就任

平成20年 全日本錦鯉振興会 副理事長就任

● 卓話予告

日時	テーマ
4/14(木)	第2000回記念夜間例会 ANA18:00～ 「会員スピーチ」

